

2022年10月18日
ステラファーマ株式会社

岡山大学と BNCT の共同研究契約を締結 ～進行・転移性がんへの BNCT 応用を推進～

ステラファーマ株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：上原幸樹、以下当社）は、国立大学法人岡山大学（岡山県岡山市、以下「岡山大学」）と、メラノーマ（悪性黒色腫）^{※1}を対象に BNCT の応用に向けた共同研究（以下「本共同研究」）に関する契約を締結したことをお知らせします。

本共同研究の基礎となっているのは、岡山大学中性子医療研究センターで行われてきた研究です。本共同研究により「局所がんに対する BNCT は、治療対象とした局所がんだけでなく、治療していない他の部位に転移したがんにも有効である」という、新たな治療効果が期待されます。

BNCT の適応^{※2}は、現在のところ「局所がん」に限られており、当該箇所以外にがんの転移が見つかった場合は、治療の適応とはなりません。そのため、本共同研究の成果によっては、今後進行・転移性がんへの BNCT の応用が可能になると考えられます。当社は、本共同研究契約に基づき、メラノーマを対象とした BNCT の応用へ向けたプロジェクトとして、基礎研究から臨床研究の企画立案までを行います。

本共同研究により、進行・転移性メラノーマへの BNCT の適応拡大につながるものと期待しています。

岡山大学は、BNCT に関して IAEA（国際原子力機関）と長年にわたり共同研究を行っています。2022年9月に開催された IAEA 第66回総会では両者が協定に調印し、同大学は BNCT の分野において初の IAEA 協働センター（Collaborating Centre）の指定を受けました。

本共同研究により、世界中で研究されている BNCT のさらなる発展に貢献できることを期待します。

※1 メラノーマ（悪性黒色腫）とは

悪性黒色腫は皮膚がんの一つで、黒色腫又はメラノーマと呼ばれることもあります。皮膚の色と関係するメラニン色素を産生する皮膚の細胞で、表皮の基底層に分布しているメラノサイト又は母斑細胞が悪性



化した腫瘍と考えられています。

※2 現在 BNCT の適応を受けているのは、「切除不能な局所進行または局所再発の頭頸部癌」です。

<注意事項>

本文書に記載されている医薬品に関する情報は、経営情報の開示を目的とするものであり、宣伝又は広告を目的とするものではありません。